

イスラエル・ガザ紛争に関わる 「子どものからだと心・連絡会議」の緊急声明

ガザ地区における人道危機の中で多数の人々、中でも子どもたちの犠牲が日増しに拡大しています。私たち「子どものからだと心・連絡会議」は、どのような理由があるにせよ、今回の紛争に断固として反対の意を表明し、人道的休戦を呼びかけたいと思います。

過去のあらゆる戦争、紛争と同じように、多くの人の命と生活が否応なしに、しかも即座に奪われています。とりわけ、今回の紛争の舞台となっているガザ地区には多くの人々が密集して暮らしています。そのため、同地区の死者数はすでに8,500人超、うち3,500人超は子どもと報道されています。イスラエル側と合算すると、すでに1万人以上の死者数です。

国連総会では、イスラエル軍とハマスの軍事衝突をめぐる緊急特別会合が開かれました。そして、ヨルダンがとりまとめた決議案の採決が行われ、棄権と無投票を除く3分の2以上の賛成で採択されました。しかしながら、およそ70ヵ国が反対や棄権、無投票にまわり、国際社会の分断も浮き彫りになって、先行きは不透明です。日本政府もハマスの無差別攻撃は非難しつつも、イスラエル軍の蛮行への批判は回避し続けています。なぜなのでしょう。

私たち「子どものからだと心・連絡会議」は、あらゆる戦争、紛争に断固として反対する立場を、ここに改めて表明します。

2023年11月3日

子どものからだと心・連絡会議

